

令和2事業年度

決 算 報 告 書

【 第 17 期 】

自：令和 2年 4月 1日

至：令和 3年 3月31日

国立大学法人 京都大学

# 令和2年度 決算報告書

国立大学法人 京都大学

(単位:百万円)

区 分	予 算	決 算	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	56,056	56,564	508	(注1)
うち補正予算による追加	-	333	333	
施設整備費補助金	4,764	4,163	△ 601	(注2)
うち補正予算による追加	-	33	33	
補助金等収入	4,488	6,959	2,471	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	97	97	-	
自己収入	53,867	53,464	△ 403	
授業料、入学料及び検定料収入	12,547	12,095	△ 452	
附属病院収入	38,638	38,096	△ 542	
雑収入	2,682	3,273	591	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	43,738	52,721	8,983	(注5)
引当金取崩	-	1,256	1,256	(注6)
長期借入金収入	6,102	3,730	△ 2,372	(注7)
前中期目標期間繰越積立金取崩	2,258	2,097	△ 161	
目的積立金取崩	534	606	72	(注8)
出資金	3,000	2,913	△ 87	
計	174,904	184,570	9,666	
支出				
業務費	110,646	109,087	△ 1,559	(注9)
教育研究経費	73,188	70,439	△ 2,749	
うち設備災害復旧等事業	-	40	40	
診療経費	37,458	38,648	1,190	
施設整備費	10,963	7,990	△ 2,973	(注10)
うち災害復旧等事業	-	33	33	
補助金等	4,488	6,650	2,162	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	43,738	49,137	5,399	(注12)
長期借入金償還金	2,069	1,025	△ 1,044	(注13)
出資金	3,000	2,913	△ 87	
計	174,904	176,802	1,898	
収入-支出	-	7,768	7,768	

○予算と決算の差異について

- (注1) 当初予算段階では予定していなかった補正予算等が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が508百万円多額となっております。
- (注2) 当初予算段階で予定していた施設整備費補助金の一部翌年度に繰り越されたこと等により、予算額に比して決算額が601百万円少額となっております。
- (注3) 当初予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得等により、予算額に比して決算額が2,471百万円多額となっております。なお、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が309百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 雑収入については、主として預金利子及び特許料収入により、予算額に比して決算額が591百万円多額となっております。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金等の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が8,983百万円多額となっております。
- (注6) 引当金取崩については、研究関連損失引当金の取崩を行ったこと等により、予算額に比して決算額が1,256百万円多額となっております。
- (注7) 長期借入金収入については、計画の一部を翌年度に実施することとしたため、予算額に比して決算額が2,372百万円少額となっております。
- (注8) 目的積立金取崩については、事業の進捗状況により、予算額に比して決算額が72百万円多額となっております。
- (注9) 業務費については、計画の一部を翌年度に実施することとしたため、予算額に比して決算額が1,559百万円少額となっております。
- (注10) (注2、注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,973百万円少額となっております。
- (注11) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,162百万円多額となっております。
- (注12) (注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が5,399百万円多額となっております。
- (注13) 長期借入金償還金については、償還猶予が認められたこと等により、予算額に比して決算額が1,044百万円少額となっております。